

慶應義塾維持会

# News Letter

2014年9月  
No.7



三田キャンパス中庭ベンチ(維持会からの支援による)

2013年度の維持会事業についてご報告いたします。

## 維持会事業費 60,423,781円

### ■ 奨学支援事業「維持会奨学金」

52,500,000円

301名の応募があり、厳正な審査を経て、35都道府県・90名の塾生に支給しました。

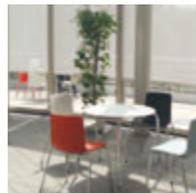
### ■ キャンパス施設整備資金

4,923,781円

- 矢上キャンパス創々館 南側テラスのテーブル・椅子設置費

- 日吉キャンパス図書館内のサイン工事費

を助成しました。



### ■ 障がいのある学生への学業奨励金

500,000円

特に重度の障がいがあると認められた学生に対し、学費充当とする奨励金を助成しました。

### ■ 「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金

2,500,000円

未来貢献のために学ぶという志を持った学生と社会人を集め、「対話と議論」を中心とした3ヶ月の教育プログラムを年2回開講しています。維持会からこの資金を助成しました。

## 2013年度 慶應義塾維持会 収支決算

(単位:円)

収入の部	寄付金	190,806,911	
	維持会基金運用収入	62,423,781	
	収入の部合計	253,230,692	
支出の部	※維持会事業費	奨学支援事業	52,500,000
		その他の財政支援事業	7,923,781
	管理経費	会員用三田評論諸経費	16,468,226
		事務経費	18,715,038
	支出の部合計	95,607,045	
収支差額(1)-(2)		157,623,647	
年度末維持会基金残高		3,443,085,841	

### (1)収入の部

新規入会687件、継続7,217件、計7,904件の寄付金と維持会基金運用収入により253,230,692円となりました。

### (2)支出の部

奨学支援事業:「慶應義塾維持会奨学金」に52,500,000円を充当しました。

その他の支援事業: キャンパス施設整備資金・障がいのある学生への学業奨励金・「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金として計7,923,781円を助成しました。

管理経費: 会員への『三田評論』発送郵便料、維持会勧誘に伴う趣意書等作成費・DM発送郵便料等として計35,183,264円を支出しました。

### (3)維持会基金残高

収支差額を全額維持会基金に組み入れた結果、残高は3,443,085,841円となりました。昨今の経済状況において運用益が減少する場合でも、維持会事業が遂行できるよう財政基盤を強化します。

2014年度の維持会事業についてお知らせいたします。

## 維持会事業費予算 65,418,630円 (2013年度末維持会基金残高3,443,085,841円の運用益)



### ■ 奨学支援事業「維持会奨学金」

56,600,000円

261名の応募があり、計97名の塾生に支給することが決定しました。

### ■ キャンパスの施設整備資金

3,818,630円

義塾では大学キャンパス、一貫教育校にAEDの増設を予定しています。維持会からこの資金を助成します。

### ■ 障がいのある学生への学業奨励金

1,500,000円

義塾では、障がいのある学生に対して、これまでに授業支援、塾生ボランティアによるサポート、施設の改善等の修学支援を実施してきました。また2013年度より、特に重度の障がいがあると認められた学生のうち、学習上特別な支出が必要となり経済的に学業に専念することが困難な者に対して、使途を学費充当とする学業奨励金にて支援を行なっています。2013年度に続き維持会からこの事業に助成します。

### ■ 「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金

2,500,000円

義塾の原点を見つめ未来貢献を志す先導者を育てるべく創立150年記念事業の一環として開講されました。これからの社会で求められるリーダーシップについて対話と議論を通じて考える場を、塾生、塾員に限らず学ぶ志のある全ての人に提供しています。また、「福澤諭吉記念文明塾」での成果を発信することにより、学ぶことの楽しさを社会全体に広める取り組みを行っています。維持会からこの資金を助成します。



### ■ アントレプレナー支援資金

1,000,000円

義塾の学術的研究活動によって生み出された研究成果の社会的活用を促進を目的に、義塾の知的財産権の実用化に際して設立されるベンチャー企業1社につき最大100万円の出資を行います。



奨学生  
インタビュー



ノ 維持会奨学生として思うこと

私は両親が聴覚障害を持っており、今までとても狭い世界の中で生きてきました。東京に出てきて慶應義塾の中で学ぶことができ、世界の広さを日々実感しております。今後も維持会の奨学生として、自分の世界をより広げるためにさまざまな所に赴き、考え、そして行動できる人間になっていきたいと思います。

ノ 一番興味のある授業

私は現在、インタラクティブ・メディア・アートの研究会に属しております。インタラクティブ・メディア・アートというのは非常に新しい分野なのですが、プログラミングだったり、画像処理を使って、指の動きだったり、顔の表情を撮って、手話をどうにか検出したり、

手話の魅力的な部分を表現したりできないかと研究中です。

ノ 課外活動で力を入れていること

国内外のろう学校を回って行く中で、聾唖の子どもたちに今、足りていないのは、体験だったり情報だなと思いました。現在、大学では、新しくITC教育のプロジェクトを立てさせていただいて、仲間と一緒に子どもたちに新しい教育の体験ができるような活動をしております。

長野県出身 環境情報学部 3年



ノ 一番興味のある授業

現在、一番興味のある授業はラテン語です。去年からやっているのですが、最近ではラテン語の韻文、詩を読むようになりまして、そのリズムを付けて書かれた文章を区切って読めるような練習をしていて、それが非常に楽しいです。

ノ ゼミで力を入れていること

最近の日銀グランプリという懸賞論文に応募しようと思っ



ノ 課外活動で力を入れていること

現在、日本文化研究会という独立団体に入っているのですが、そこでセミナーという勉強会みたいなのを、教授とかOBの皆さんと交えてやっております。私もそういう世の中について研究したことを発表したり、あるいは冊子を作って、印刷して広報として出そうかと今、頑張っているところです。

ノ 慶應義塾の良いところ

歴史がありますので、自分一人で勉強しているのではなくて、これは福澤先生以降、多くの先人たちと一緒に学んでいるような気分になれるところかなと思っております。

大阪府出身 経済学部 3年



# 奨学生インタビュー



## ／一番興味のある授業

私が今までに受けた授業の中で最も興味のある授業は戦略的交渉論という授業です。その授業では、実際に他人と交渉をして、自分自身の弱点や改善点も見つけることができました。

## ／課外活動で力を入れていること

私は今までに2回フルマラソンに出場したことがあり、神戸マラソンと東京マラソンで3時間50分で完走することができました。現在は3時間30分切りを目標に、日々トレーニングに励んでいます。

## ／海外研修で学んだこと

私は人生で初めて1人で海外に足を運んだんですけども、10カ国近くから集まった様々な年齢の方とコミュ

ニケーションを取るといふことの難しさや、また、コミュニケーションを取れたときの喜びというものを実感しました。

## ／卒業後の進路、将来の夢

私は卒業後、お菓子メーカーに就職することが決まっております。世の中の子供たちに笑顔を与えられるような商品の開発に携わりたいと思っております。また、自分自身がスポーツをやっていることもありまして、スポーツ事業において、世の中のスポーツ選手たちに貢献できるような商品の開発にも携わりたいと思っております。



兵庫県出身 総合政策学部 4年



## ／一番興味のある授業

研究会に関連する授業で、まず一つ目が経済法という授業です。二つ目がジャーナリズム論という授業で、どちらも研究会では主にアウトプットが中心となるので、その知識の整理としてインプットできるのが非常に面白いです。

## ／ゼミで力を入れていること

一つ目の田村次朗研究会では、隔週で経済法に関するディベートを前期は行いました。二つ目の山腰修三研究会では三田論の執筆を今、始めております。三田論のテーマは靖国報道ということで、日本人の靖国に対



する意識だったり、メディアの役割、責任を追ってきたいと思っております。

## ／課外活動で力を入れていること

メディア・コミュニケーション研究所に所属しており、ここでは渉外企画部の部長として、今は企業訪問に力を入れています。秋以降になりますと三田祭のトークイベントを行いますので、そちらのほうも力を入れています。

## ／慶應義塾の良いところ

学生の質だと思っています。大学に来て本当に多くの友人ができて、刺激を日々もらっています。また、学習の環境も本当に整っていて、やりたいことはすべてできているので、学生生活には非常に満足しています。

愛知県出身 法学部 3年



## ／一番興味のある授業

私は社会学を勉強したくて慶應義塾に入学したので、やはり、社会学の授業が一番楽しいです。少人数で英語の文献を読んだりですとか、あとはディスカッションをしたりですとか、本当にやりがいがあるし、教授の先生方には本当にお世話になっています。

## ／課外活動で力を入れていること

私は大学の留学生寮でレジデント・アシスタントとして採用していただいているので、世界各国から来ている留学生の方と生活する中で、語学の学習にも力を入れています。



## ／教育実習で学んだこと

私は6月に3週間、母校の中学校で教育実習を行ってきました。短い期間だったのですが、一人一人の生徒と会話をして、給食を食べて、一緒に授業を受けて、教職課程のまとめとして本当に実りある時間を過ごせたと感じています。

## ／卒業後の進路、将来の夢

大学院への進学を考えています。研究会で勉強する中で、やはり、もう少し社会学を勉強してみたいという欲が高まって、修士課程入試を控えています。一生懸命勉強して合格できるように頑張りたいと思っています。

北海道出身 文学部 4年



この度は、慶應義塾大学維持会奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。入学以来経済状況が厳しく、今回このような奨学金を頂いたことで、家族共々心より感謝しています。

私は現在医学部5年生で、毎日病棟で臨床実習を行なっています。まだまだ未熟ですが、慶應の先生方の真摯に医学や医療に携わる姿を見て、より一層勉学に精進していかなければならないと感じています。また私は研究分野にも興味があり、多忙な臨床の傍ら、熱心に研究が続いている先生方の姿も印象に残っています。「実学」という言葉は、医学に当てはめてみると「臨床の基礎にある研究」であると私は思っています。将来は臨床と研究をともに経験して、一層学びを深めていきたいと思っています。来年の夏には、私は海外での臨床実習の勉強のため、短期留学を予定しています。

課外活動では、私は現在医学部体育会に所属し、日々厳しい練習を続けています。「獣心をなして後に人心を養う」という福澤諭吉の言葉が好きで、部活動は、将来医師となる上で肉体的にも精神的にも成長できる場として私は大事にしています。昨年度、クラブはブロックの中で優勝し、入れ替え戦にも勝利して、上の部に昇格することができました。部活動を通じた仲間との絆はかけがえのないものであり、自分にとって大きな支えでもあり、自信にもなっています。部活動での経験は将来の大きな糧になると確信しています。

今後より一層勉学や部活動に励み、立派な医師となり社会に還元していくことで、義塾の皆様にも恩返しをさせて頂きたいと思っています。

広島県出身 医学部 5年



## 2014年度 維持会奨学生からの感謝のメッセージ

(掲載内容は一部抜粋しております。)

この度、伝統ある慶應義塾維持会の奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございます。

奨学金の採用が決まってから、改めて両親への感謝を深く思いました。自分が進みたいと思った道には何一つ文句を言わず、応援してくれました。その応援に応えようと努力を続けるものの、空回りすることが多く、常に迷惑を掛けていることに、自分の不甲斐なさを感じており、方向性が見えてこない自身の将来に関しても不安を与えてしまっていました。両親には心配ばかりを掛けるのではなく、将来についてしっかりと考え、自分自身が納得のいく人生を歩み、安心させたいと再認識しました。

私は現在、理工学部機械工学科にて流体力学の研究室に所属し、環境問題や医療技術に貢献できるための技術の基礎研究を行っております。所属したばかりであるため、十分な知識、経験はまだありませんが、慶應義塾を卒業し世界で活躍してきた研究室の先生のもとで、他のメンバーと共に研究に精進していきます。慶應義塾という恵まれた環境で学べていることを無駄にはせず、社会に貢献できる人になるべく、残りの学生生活を送りたいと思います。

埼玉県出身 理工学部 4年



この度は、慶應義塾維持会奨学金の奨学生として採用していただき、本当にありがとうございます。

私は将来、地域密着型の弁護士になりたいと考えております。私が高校に入学する年におこった東日本大震災によって苦しい生活を送っている被災者の方々が未だにたくさんいます。被災者の方々の力になりたいという思いは3年以上経った今でも消えません。また、岩手県の沿岸部にはたくさんの中国人や韓国人の被災者の方もいます。日本の法制度がわからないために不当な生活を送っている外国人の方の役にも立ちたいと考えております。少しでも早く司法試験に合格し、経験を積んで地元を支える一人になることが私の目標です。その

為に現在私は法律系のサークルに所属し、週に数回行われる勉強会や2週間に1度行われる司法試験対策ゼミに参加しております。まだまだ勉強がたりず、苦しむこともあります。先輩やOBの方々の言葉を励みに日々努力しております。また、4年次にはダブルスクールに通い法科大学院に進学し、慶應義塾の大学院にしか設置されていない震災復興法学を学びたいと考えております。

奨学生としての責任を持って行動し、将来少しでも慶應義塾大学に貢献する一員になれるよう勉学に励む所存です。

岩手県出身 法学部 1年



この度は、慶應義塾維持会奨学金に採用していただき、貴会ならびに貴会会員の皆様にも心より深く御礼申し上げます。両親もご支援賜りましたことを心より感謝しております。

私は、商学部在籍し、ゼミでは非常に高いレベルで専門分野を学ぶことができている。代表も務めさせていただいており、学問に関して理解を深めるだけでなく、集団の中でどのようにリーダーシップを発揮していくべきかなど、非常に多くのことを学ばせていただいております。また、課外活動として、憧れであった伝統あるオーケストラに在籍し、日々鍛錬に励んでいます。今春には音楽の本場である欧州で演奏会を行って参りました。ゼミ・オーケストラでの経験は伝統ある慶應義塾であるからこそ体験できているのだ、と身に染みて実感し、誇りに感じております。また、アルバイトでは、ゼミ・オーケストラとの両立を図るべく、ほぼ毎日早朝に行っており、学費・生活費の工面だけではなく、だらだらとした生活になってしまわぬよう、厳しく生活の管理に努めています。これ以上アルバイトに時間を割くことは難しい状況でしたが、今回、奨学金を支給していただけたことで、金銭的な不安なく、全ての活動に邁進できるようになりました。

塾生としての残り2年間、慶應義塾維持会奨学生としての自覚を持ち、全ての活動に全力で取り組んでいく所存であります。

兵庫県出身 商学部 3年

維持会の活動をさまざまなメディアでご紹介しています。ぜひご覧ください。



Facebook はじめました。



いいね!

よろしくお願いします。



維持会Webサイトでは、  
「維持会紹介ビデオ」  
「奨学生インタビュービデオ」  
を配信しています。  
また、奨学生全員の  
『感謝のメッセージ』も  
掲載しています。

慶應義塾維持会

検索

▼ 維持会紹介ビデオ




▼ 奨学生インタビュービデオ




## 慶應義塾維持会 News Letter No.7

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45  
TEL.03-5427-1545 FAX.03-5427-1546

E-mail:kikin-box@adst.keio.ac.jp  
http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/

発行日 2014年9月25日  
発行 慶應義塾基金室 維持会担当

●ご意見・ご感想をお寄せください。